

令和7年度小牧市健康づくり推進審議会 糖尿病対策専門部会の取組について

1 所掌事務

2 令和7年度の主な取組

(1) 部会の開催

第1回

第2回

第3回

日時

議題

令和7年7月29日(火) 午後2時～午後3時30分

(1)部会長・副部会長の選出 (2)本市の糖尿病対策における目指す姿について (3)各委員から見た現状および課題について (4)今年度の取組について

場所

出席者

6 名

日時

議題

令和7年9月8日(月) 午後2時～午後3時

(1)糖尿病デーにおける中央図書館でのイベントについて (2)それぞれの所属における今後の取組について

場所

出席者

6 名

日時

議題

令和8年1月26日(月) 午後2時～午後3時30分

(1)今年度の専門部会の取組内容について (2)糖尿病治療中断者への介入について (3)糖尿病重症化予防の取組について

場所

出席者

6 名

(2) 世界糖尿病デーにかかわる取組み

ア ブルーライトアップをはじめとした周知啓発

目 的：糖尿病に関する知識や関心を持たない層に対し、糖尿病への理解および健康意識向上のきっかけを提供する。

開 催 日：令和7年11月14日(金)を含む1週間(協力機関により異なる)

周知方法：市および医師会ホームページへの掲載、事業者向けメールマガジンでの周知等

協力機関：民間施設 計19か所、公共施設 計7か所

実施内容：医療機関や事業所、公共施設でのブルーライトによるライトアップ、ブルーサークル等の展示、乳幼児健診(保健センター)でのブルーサークル作成

課 題：ライトアップやブルーサークルの作成により、関心を持つきっかけを作ることにはできたが、その後の糖尿病に関する情報の伝達性やアクセスのしにくさがある。

今後に向けて：ブルーライトアップを実施する目的や意義をより明確に伝えるため、簡易に糖尿病関連情報へアクセスできるよう、掲示物や案内方法の改善を検討する。

ブルーライトアップの様子

ブルーサークル展示の様子

乳幼児健診でのブルーサークル作成

イ 中央図書館における世界糖尿病デーイベント(小牧市糖尿病みらいづくりプロジェクト)

目 的：市民に糖尿病の正しい知識を普及し、知るきっかけを提供するとともに、糖尿病の早期発見および重症化予防の重要性に対する理解を高める。

対 象：小牧市民

開 催 日：令和7年11月7日(金)から令和7年11月14日(金)

場 所：小牧市中央図書館イベントスペース

周知方法：市ホームページや市公式 SNS での掲載、巡回バス「こまくる」デジタルサイネージでの周知、市医師会への周知、部会員による周知等

協 力：部会員をはじめとする小牧市民病院糖尿病サポートチーム、市民活動団体 co-YOBOH

実施内容：

(ア) 展示(期間内常設)：糖尿病関連資料・リーフレットの設置(部会委員が所有または既作成の資料を活用)、クイズラリーの実施

展示の様子

クイズラリー用紙

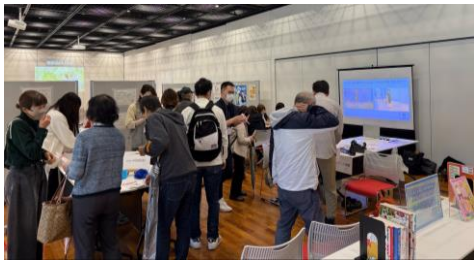
※参加者数 クイズラリー:26 名

(イ) 講座、体験・相談会(11月9日)：クイズラリー、糖尿病基礎講座、血糖測定、専門職による相談、口腔機能検査、バランス体験、CGM展示

講座の様子



体験・相談会の様子

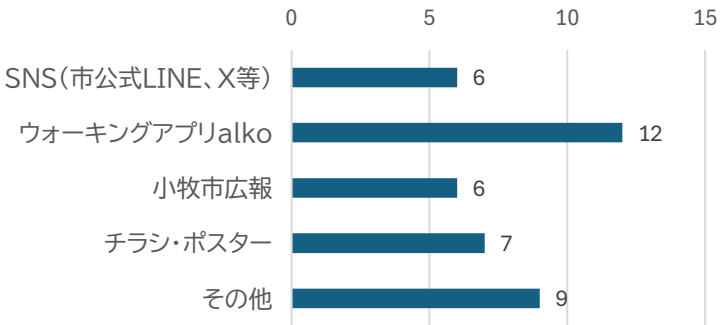


※参加者数 糖尿病基礎講座:42名
その他測定・相談:延べ173名(重複者含む)
(うちアンケート回答者40名)

・9日アンケート結果

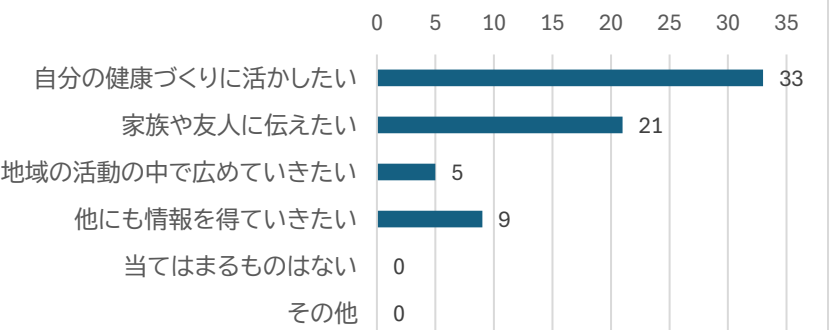
グラフ1

イベントを知ったきっかけ(複数回答可)



グラフ2

イベントの感想(複数回答可)



※その他:通りすがり、保険医療課からのお知らせ、まちかど運動教室、小針のこまき山体操、保健センター職員からの紹介

(ウ) 出前講座(11月12日)：管理栄養士による食事に関する糖尿病予防講座



※参加者数:18名

成果指標：幅広く周知を行うことで、多くの方にご参加いただき、自身および周囲へのさらなる健康意識の向上を促進できた。また、部会員同士の繋がりがより強固となるイベントであった。加えて、図書館の特性もあり、利用者が気軽に立ち寄り、参加しやすい環境であり、無関心層への関心を引くきっかけを作ることができた。

課題：新規のイベントであったこともあり、イベントに関する市民の認知は不十分であった。

今後に向けて：上記の課題を踏まえ、興味を引きやすく、より効果的なテーマ・周知方法について検討するとともに、令和8年度も継続してイベントを開催することで、糖尿病に関する正しい知識の普及啓発を図る。

3 今後の方針

世界糖尿病デーにかかわる取組みの継続により、糖尿病に関する知識・情報の普及啓発を図るとともに、早期発見および重症化予防を促進する取組をより充実化させていく。また、部会内および関係機関・多職種間の連携を活かし、早期発見や重症化予防につながる支援について検討していく。